

古い街の新たなシンボルとなる大らかな屋根がまちを背景にうみ間に程々に浮かぶ。大屋根の下の多様なパブリックスペースは、人が集まり、時には一人で休めるような魅力的な都市空間を創出する。

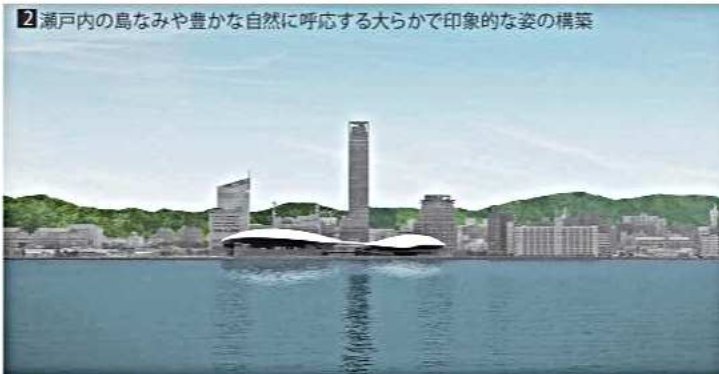


二つの軸
東西の軸と南北の軸の交点に、新たな
パブリック空間のシンボルを創出する

にぎわいをつなげる
まちの中心部から自然に
人のにぎわいを導く

自律的な歩行者ネットワーク
歩行者の歩行から自然に
広がり、パブリック空間の歩行者
ネットワーク

まち全体でのイベント
敷地全体から自然に、まちの中心部
までイベントを開催する場を
創出する



- 1. まちづくり**
- I. 文化や芸術が行き交い、にぎわいを創出する拠点を創り、地域全体にイベントが展開する新たな都市の魅力を創出
 - ・スポーツイベント、花火大会、瀬戸内国際芸術祭、さぬきマルシェ、瀬戸内サマーナイトフェスティバル、サンポート美観トラリアスロン等の開催
 - II. 周辺施設との連携：コンベンション、スポーツアライズム
 - III. 敷地全体を公園とらえ、まちからうみへ美しく散策できる回遊性を創出
 - ・多目的広場からシーフロントプロムナードへ
 - ・広場レベルと回遊デッキレベルの歩行者ネットワーク
 - IV. 瀬戸内のうみを眺めながら充実した時間を過ごせる場所
 - ・1日中、あるいは鉄道、船、バスの待ち時間を利用して
- 2. 姿の構築**
- I. 視覚性と日常性を併せ持つ姿
 - II. 西川原の新しいロブリック性を象徴する姿
 - ・2つのアリーナを一体的に連う屋根が回遊デッキの上にかかる
 - ・人々に様々な情景を思い起こさせる美しさを創出して優しく伏せたい形
 - ・穏やかに浮かぶ白雲、瀬戸内に浮かぶ美観、讃岐山脈の山並み
 - III. 建築からヒューマンスケールの美しさある回遊デッキに様々なアクティビティが展開する
 - IV. 周辺施設からの眺望に配慮した程やかなボリュームと優しい形態



住宅街にボリュームの小さなサブアリーナを配置して緑豊かなあそびのわを確保し、日常的に快適な市民利用の環境を整える。

屋根を一望できる展望ランジが、ファミリー層に対し人々を迎え入れる表情を見せる。うみ側には瀬戸内への眺望が架かれたレストランが配され、海側のにぎわいを演出する。



大目とゴールデン親のエンタランスが歩行者を迎える。開放的な交流ロビーを通して人々を自然にうみへと導く。回遊デッキへと緩やかなスロープが伸び、自律的なパブリックスペースによって多様な情景が展開する環境がつくられる。

